（様式2）

令和　　2　　年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1570102325		
法人名	社会福祉法人大形福祉会		
事業所名	グループホーム大形		
所在地	新潟市東区新松崎1-1-12		
自己評価作成日	令和2年10月6日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（↓このURLをクリック）

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_2017_022_kani=true&JigyosyoCd=1570102325-00&PrefCd=15&VersionCd=022

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2
訪問調査日	令和2年11月17日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

1. 地域との関わりを持つ
2. 御利用者様、御家族様、グループホーム職員、自治会が話し合いをしながらグループホームでの生活をしていく。
3. 御利用者様、御家族様の考えている暮らしが実現できるよう支援する。

という運営方針を定め取り組んでおります。
グループホーム大形は外出支援に力を入れ御利用者様の行きたい、ご希望の場所へお連れしております。しかし新型コロナウィルス流行の為、現在は御家族様の面会も禁止させて頂いている中、希望される場所どこでもお連れすることは感染に繋がる為自粛して頂いております。
長引くコロナ禍の中、外出に代わる活動の提供について「作業・ゲーム・活動」メニューとして職員から案を募り35種類以上の提案があり、その日の職員の数だけ毎日実施しております。その中にドライヴ、公園散歩も加え、人の密集する建物以外の外出を行い外に出ることで気分転換して頂いております。
御家族様による面会も禁止させて頂いており、ご不便をお掛けしている中、7月よりLINE電話での面会を始め、6名の御家族様に登録して頂きリモートでの面会を行っております。
今年2月に海老ヶ瀬新町より新松崎の複合型施設に移転してまいり間もなく新型コロナにて3月、5月の運営推進会議は開催できず書面でのご報告とさせていただきました。4月に新松崎の自治会長様を尋ね、グループホーム大形の説明と奇数月での運営推進会議の御参加のお願い、回覧板を回していただく等のお話をさせて頂きました。コロナ禍の為、地域の行事や総会の参加等未定ではありますが自治会長様から情報を得ながら参加に向けて準備していきたいと思います。
医療面では看護師を職員として配置している事や、かかりつけ医、調剤薬局と相談できる関係性を継続させていただいています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

○新しい環境で今までの生活が継続されている現状について
　事業所は今年2月に、特養、ショートステイ、デイサービスが併設された法人が新たに建てた一角に移転して来ている。元々グループホームとしては市内でも草分け的存在であり、更に併設事業所との協力関係も得られ、安定した運営が展開されている。利用者、職員の顔ぶれも大きく変わる事なく新しい環境で生活できている。

○利用者の楽しみを増やす取り組みについて
　コロナ禍で外部者との交流が難しい中、利用者の楽しみは何なのか、少しでも生活にはりあいが持てるよう、職員は利用者に寄り添い支援している。週に一度は外出の機会を設けたり、ホーム内で楽しめる様々なレクリエーションを企画、実施しており、そうした中でも職員が必ず一人ひとりと関りを持ち、丁寧に見守っている。利用者に対して職員配置を十分にとり利用者との関りが手厚く行われている事業所である。

○より良い支援に向けての取り組み
　日々の支援の中で、振り返りも含めた必要な研修を3ヶ月毎に開催しており、職員の意識向上に努めている。各種の研修会の充実により、正しい知識の習得、理解が職員の身に付くことで職員全員が同じ方向性を持ち、利用者に対応している事が利用者の穏やかな表情から窺える。